



pick up!

4月1日から8日まで、ネーブルパークふれあい広場で「第5回古河さくらまつり」が開催されました。土曜日・日曜日にはキャラクターショーやダンスショーなどのステージイベントが催され、まつり期間中は約3万人が来園。今年にはサクラの開花が早かったため、開催初日から満開となりました。初夏を思わせる汗ばむ陽気の中、多くの花見客が園内に植樹された約500本のソメイヨシノなどの前で写真撮影をしたり、ステージイベントを楽しんだり、思い思いに春の一日を楽しんでいました。

古河さくらまつり

春の訪れを告げる「第42回古河桃まつり」が3月20日から4月5日まで古河公方公園(古河総合公園)で開催されました。「矢口」や「源平」など約1500本のハナモモが咲き誇り、濃く染まったピンク色が約17万人の来園者の春気分を盛り上げました。大井川茨城県知事も来園した3月下旬は、暖かい日が続いたこともあり、満開のハナモモを来園者と共に楽しむことができました。また、サクラの開花も早かったため、開催期間中にはハナモモとサクラが共に満開になり、色とりどりの花を満喫しました。

古河桃まつり ~日本一の花桃の里~

「第19回古河まぐらがの里花桃ウォーク」が3月24日・25日の2日間行われ、北は北海道網走市から、南は大分県大分市まで、全国から約1500人が参加しました。1日目は市内の歴史ある街並みを歩くコース。2日目は渡良瀬遊水地の豊かな自然を歩くコース。両日も古河桃まつりの会場である古河公方公園(古河総合公園)から、満開のハナモモに見送られスタートしました。参加者は、穏やかな陽気の中、春の息吹を感じながら市内の散策を楽しみました。

古河まぐらがの里 花桃ウォーク

